

答

合併10周年を記念し、平成26年度中に市主催事業や市民提案事業、冠事業などを含め64の記念事業を実施し、延べ20万人を上回る参加があった。

記念事業の参加者からは、「今まで参加したことがなかった他地域の行事に参加できて新しい魅力の発見があった」「記念行事に参加したことをきっかけに多くのかたがたとの交流が広がった」との声が寄せられ、市民と行政が記念事業を作り上げていく中で、市民の融和・一体感の醸成をそれぞれが肌で感じることができたものと捉えている。

また、記念事業がさまざまな形でメディアに取り上げられ、情報発信により、本市を知ってもらう、関心を持ってもらうことにもつながり、交流人口の増加や地域の活性化にも効果があったものと考えている。

今回の記念事業の実施を契機とし、市民ニーズに合致した新たな事業の掘り起こしにも努め、市民と行政が心を一つにしたまちづくりを進めていきたい。

公明党

西条市議団

議案質疑

平成27年度

一般会計補正予算(第7回)

キウイフルーツかきよう病発生状況と今後の対策は？

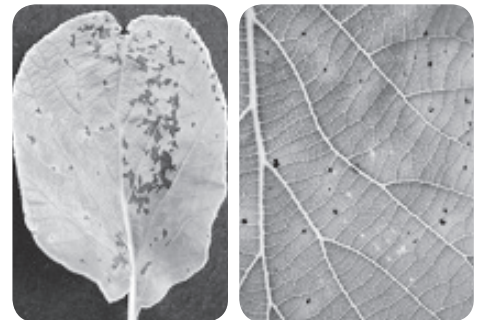
問

キウイフルーツの主要生産地である本市において、かきよう病への対策は重要課題であるが、市は、どのように取り組んでいるのか。

答

キウイフルーツかきよう病は、平成27年度に市内5園地72アールで発生が確認され、その全園地において全伐採の対応がなされている。

今回のキウイフルーツ花粉検定促進事業は、自家採取花粉のかきよう病検定を行い、花粉に潜伏する病原菌を発見することで、感染・発病を未然に防ぐことを目的に実施す



キウイフルーツかきよう病(斑点ができた葉)

るものである。

平成26年5月の発生確認後、愛媛県やJAなどの関係機関と連携しながら、緊急伐採経費のほか、全伐採農家に対する再生支援金の支給や改植経費、栽培管理施設整備の助成、経営再開資金借入に対する利子補給などを継続して実施している。また、平成26年度には、キウイフルーツを栽培する全農家を対象に薬剤散布と防風ネット導入に係る費用の助成も実施している。

今後とも、国や県、JAなどが作成した防除指針・対応マニュアルなどにより、研究機関とも連携しながら、適正な防除による感染防止と早期発見などの普及啓発に努めていきたい。

一般質問

ひきこもりに対する

社会復帰支援を！

問

ひきこもりは、年齢にかかわらず誰にでも起こりうる現代の社会問題であるが、ひきこもりのかたの社会復帰支援については、どのように取り組んでいるのか。

答

内閣府では、ひきこもりの数を全国で70万人と推計しているが、本市の現在の実態は把握できていない。

市保健センターでは、保健師がひきこもりの相談に応じており、本人や家族への継続的な訪問や電話・メールによる相談を実施し、西条保健所や医療機関など、適切な機関につなげるよう支援している。

また、厚生労働省が提唱するひきこもりサポーター派遣事業は、社会復帰支援に有効と考えるが、愛媛県下で実施している市町はなく、今後、県や近隣市町の動向を見ながら検討していきたい。

リベラル西条

一般質問

東京2020オリンピック・パラリンピック

事前キャンプ地の誘致を！

問

東京2020オリンピック・パラリンピック事前キャンプ地の誘致について、本市での検討状況は、どのようになっているのか。

また、市単独での誘致が難しい場合は、愛媛県などとの連携も必要となるが、関係機関との連携については、どのように考えているのか。



石鎚クライミングパークSAIJO